

平成 30 年度 第 2 回 スポーツ推進審議会 会議記録

日時：平成 31 年 2 月 22 日（金）午前 10 時 00 分～

場所：奈良市役所 北棟 第 19 会議室

次第 1 開会

開 会 司 会	<p>本日は、大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。定刻より少し早いですが、平成 30 年度 第 1 回 奈良市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。</p> <p>開催に先立ちまして、委員の皆様のお出席状況を報告させていただきます。</p> <p>本日は、委員 6 名のうち、本日は 4 名の方にご出席いただいております。</p> <p>奈良市スポーツ推進審議会に関する条例 第 7 条 第 1 項 の規定に基づき、出席数が委員の半数を超えておりますので、会議が成立しますことをご報告申し上げます。</p> <p>なお、奈良市スポーツ推進審議会 会議運営要領 第 2 条 に基づき、この会議を公開とさせていただきます。ただし、本日の傍聴人は 0 名です。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして 市民活動部 部長 園部よりご挨拶を申し上げます。</p>
開 会 挨 拶 部 長	<p>あらためまして、おはようございます。</p> <p>本日はお忙しい中、第 1 回「奈良市スポーツ推進審議会」にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>平素から、奈良市のスポーツ推進に格別のご理解とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>皆様ご存知のとおり、東京オリンピック・パラリンピックが来年に迫ってきております。国民のスポーツへの関心が大変高まっていることを実感していただいているかと思えます。本市におきましても波に乗り遅れないよう、しっかりと更にスポーツの推進を進めてまいりたいと思っておりますので、是非ともご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。本日につきましては、スポーツ団体の活動をより充実したものにすための、平成 31 年度の補助金を交付する資料とスポーツ団体について、または体育施設の整備計画についてということで、話をさせていただきますので、ご審議のほどをよろしくお願ひいたします。</p> <p>簡単ではございますが、開催にあたっての挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願ひ致します。</p>
委 員 紹 介 司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではここで、委員の皆様をご紹介します。</p> <p>○ 奈良教育大学 教授 <sup>かきなみ</sup> 笠次 <sup>りょうじ</sup> 良爾 様です。</p> <p>○ 奈良市体育協会 会長 <sup>しろた</sup> 城田 <sup>まさやす</sup> 全康 様です。</p> <p>○ 奈良教育大学 教授 <sup>たかはし</sup> 高橋 <sup>ひでさと</sup> 豪仁 様です。</p> <p>今回委員の改選により新たに御就任いただきました、</p> <p>○ 奈良女子大学 准教授 <sup>ほしの</sup> 星野 <sup>さとこ</sup> 聡子 様です。</p>

		<p>なお、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奈良女子大学 教授 成瀬 九美 様、</li> <li>○ 奈良西部病院救急科 救急部長 野阪 善雅 様</li> </ul> <p>は、引き続きお願いするところですが、あいにく本日はご欠席となっています。</p>
事務局員 紹介	司 会	<p>次に、事務局職員を紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民活動部 部長 園部 でございます。</li> <li>● 市民活動部 次長 中川 でございます。</li> </ul> <p>スポーツ振興課の職員を紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 課長 池田 でございます。</li> <li>● 総務係長 森 でございます。</li> <li>● スポーツ振興係長 北森 でございます。</li> </ul> <p>そして私、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 課長補佐 池田 でございます。</li> </ul> <p>よろしく願いいたします。</p>
進 行	司 会	<p>昨年の任期満了に伴い、今回委員改選をさせていただきました。 任期は平成30年11月1日から2年間となっております。 委員の皆様の委嘱状について、お手元にご用意させておりますので、ご確認ください。 併せて本日の資料の確認をさせていただきます。まず、一番上に本日の次第、 となっております。 続きまして、委員皆様の名簿、審議会に関する条例、及び運営要領となっております。 「平成31年度スポーツ団体からの補助要望一覧表」両面の一枚ものです。 それぞれの団体の詳細は、次の補助金の各団体の中に入っておりますが、13 ページまでございます。 続きまして、「鴻ノ池運動公園内整備事業」ということでカラーの一枚ものの写 真等の資料がございます。 続きまして、「西部生涯屋内温水プール利用者数推移」の一枚ものの表になっ ております。 最後に「プール利用者数（65歳以上の割合）及び使用料推移【H27～29 年度】」以上お揃いでしょうか。</p>
議 事 1 会長・副会長選出について		
	司 会	<p>それでは、これより議事に入らせていただきます。 議事1「会長・副会長の選出について」申し上げます。奈良市スポーツ推進審議 会に関する条例 第5条第1項及び第2項に基づきまして、「会長及び副会長を 置き、委員の互選によってこれを定める」となっております。 そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
	( 委 員 )	・・・拍手・・・

進 行 司 会		ただいま、高橋先生にという発言を頂きましたが、いかがでしょうか。
	( 委 員 )	・・・異議なし・・・
進 行 司 会		それでは、高橋先生に会長をして頂くということで、すみませんが会長席にお移り願えますでしょうか。 それでは会長、一言お願いいたします。
開 会 挨 拶	高 橋 会 長	引き続き、どうぞよろしく申し上げます。 限られた審議会の時間ではありますが、建設的な意見を出し合いまして、奈良市のスポーツ推進のために少しでも資するものになればと思います。 どうぞよろしくお願いいたします。
進 行 司 会		ありがとうございます。それでは、奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第5条第3項では「会長は審議会を代表し、議事その他の会務を総理する」となっております。 これ以降の議事進行につきまして、会長にお願いいたします。
署 名 委 員 選 出	高 橋 会 長	議事に先立ちまして、本日の議事を記録に留め置くための、議事録署名委員を選出する必要がありますが、私から指名させていただいてよろしいでしょうか。
	( 委 員 )	・・・異議なし・・・
署 名 委 員 決 定	高 橋 会 長	では、異議がないようでございますので、私から指名させていただきます。 それでは <u>ほしの 委員</u> と <u>かさなみ 委員</u> のお二人にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。 続きまして、副会長の選出につきまして、奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第5条第2項に基づきまして、「会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める」となっております。 ただいま一任という発言がございましたので、私から指名させていただきたいと思いますが、ご異議無いようですので城田議員に副会長をお願いします。 では、副会長席をお願いします。
	副 会 長	城田でございます、よろしく申し上げます。

## 議 事 2 平成31年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について

議 事 進 行	高 橋 会 長	では続きまして、議事の2番目「平成31年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について」を議題と致します。 では、事務局から説明をお願いします。
事務局説明	池 田 課 長	平成31年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金についてご説明いたします。 お手元の資料①-1、補助金の要望一覧をご覧ください。 また、資料①-2として各団体の活動の状況等の資料をご用意させていただいております。 来年度につきましては、一覧表の事業において補助金を交付したいと思います。 昨年まで補助金を交付していました全ての団体に対して事業内容等、ヒアリングを行いまして、その際奈良市の財政事情に基づき、補助金の方向性についても、

		<p>新たに説明致しました。自主財源の財源確保に努めていただきたい、という事をそれぞれの団体にお話しております。</p> <p>まず、1番目の『奈良市体育協会』は、様々なスポーツ事業を展開し、各スポーツ団体の育成等にも関わり、非常に多くのスポーツ団体の取りまとめ役として活動をしています。</p> <p>また7番から17番は、地域で活動されているスポーツ団体への助成でございます。</p> <p>次に大会等開催補助22番の日韓対抗ゴルフ大会について、でございますが、日本と韓国で相互に開催されている大会でございますが、来年度は4月に月ヶ瀬にあります「コマ カントリークラブ」で開催されることになっております。同大会には、現在プロとして活躍されている選手がジュニア時代に多数参加されたと同っております。</p> <p>その他補助金につきましては、本年度の継続での事業と考えております。</p> <p>次に姉妹都市交流事業については、例年実施しております3つの事業について補助を考えております。</p> <p>それぞれの団体の目的、事業の概要につきましては、資料①-2をご覧くださいければと思います。</p> <p>それでは、それぞれの各団体への補助金ですが、スポーツ振興課の方で必要性を鑑みて査定を行ってまいります。</p> <p>ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>個別の資料①-1と①-2があります。よろしく願いいたします。</p>
議事進行	高橋会長	<p>1枚目の一覧表、それからそれぞれの事業についての議事の内容が示してあります。</p> <p>要望がでております団体助成についての審議でございますが、只今の説明に關しまして、何かご質問などございませぬか。</p>
	高橋会長	<p>では私の方から。奈良市体育協会の中には様々な団体が所属していると思うのですけれども、その中で要望があった団体は、ここに上がっている協会等、一番最初の表で奈良市・・・。</p>
事務局説明	北森係長	<p>こちらの2番から5番までの団体につきましては、体育教連の中で要望がでてくる団体です。</p>
	高橋会長	<p>要望が出ていない団体も？</p>
	事務局 (北森係長)	<p>ございます。</p>
	高橋会長	<p>2番は？</p>
	事務局 (北森係長)	<p>出ていないです。</p>
	城田副会長	<p>それぞれ、奈良市は予算厳しい中で、地元民は去年と同じだけよく取ってくれはったな、と思うのです。もう市長は減らそう、減らそう、減らそう、ばっかり言っているのですけれどね。</p>

		これを見てくださったらわかるように、ここの資料①—1にあるように、29, 30, 31年度予算ということで、同じそれぞれ額、減られることもない、逆に先生が言ってくださった中高の15万の日本高等学校ゴルフ連盟、22番ですね、それなんかは新たに50万をとってもらっている、ということで事務当局の交渉、ありがとうございます、と私は思っています。
	高橋会長	30年度要求額、というのは、この額が支給されたということ？
事務局説明	北森係長	そうです。予算で。
	城田副会長	ほんとは各競技団体はね、いろいろ個人ですのです。 しかし、私が所属している奈良市陸上競技だったら、自前で色んな方法で事業費を（捻出？）しているので、以前は少し頂戴していた。 けれどやはり厳しいのと、ここでぶっちゃけた話を言うと、金額もらったら、それに対して色んな資料を市当局にお渡ししないといけない。というのは色んな資料集めというか、それも大変な事みたいなので、私が所属している陸協は、もう辞退申し上げよう。というのがぶっちゃけた話。だから他の競技団体はわからないが、そういうのに近いところもあるのではないですかね。
	高橋会長	30年度は支給されていて31年度は見合わせた、というそういう団体は特にないですか。
事務局説明	北森係長	単年度事業はございますけれど、継続事業につきましては、そのままでやらせてもらっています。
	高橋会長	地域スポーツ団体については、これは中学校区にあるとか、そういった校区ごとにある？
事務局説明	北森係長	校区ごとでされていて、連合会単位中心のところもございます、学校単位中心のところもございます。 地域の団体の活動形態が違うのですけれども、学校開放に使っておられる、小中学生の団体を中心とした集まりのところもございますし、また高齢者を中心に、軽スポーツを中心に行っているところもございます。地域によって、そういうところの差はございますけれども。
	高橋会長	奈良市全体を網羅しているというわけではない？
事務局説明	北森係長	そうですね、活動自体は以前に比べれば、減っております。
	城田副会長	5番の奈良市スキー協会、夕べ一里野塚スキー場へ行っているのですけれど、私も明日の朝、課長と一緒に追いかけて激励に行つてこようと思っているのですけれども。
	笠次委員	私のほうから、それぞれの団体から毎年今の形で報告書があがってきている。これまでそれを拝見させてもらっていますが。
事務局説明	北森係長	活動の1と2から仕様に説明をさせていただきます。
	笠次委員	取り組み内容は、次年度に向けて、という形でそれぞれの団体があげてきているものなのでですね。ですから前年度という部分は、前年度この1マツトであれば平成30年度事業という形で簡単にまとまっていますけれども、他の団体に関

		しましては基本的に取り組み内容については毎年変わらない？
事務局説明	北 森 係 長	大きくは変わっておりませんが、新たな取り組みをされている場合もございます。 大きくは、活動内容は変わっておりません。
	笠 次 委 員	なるほど。それぞれの団体がこの予算、全体のそのそれぞれの団体の予算における割合というのはどれくらいなのか、事務局では把握しておられる？ どのくらいなのですか？
事務局説明	北 森 係 長	幅としては、まあ例えば平城ニュータウンスポーツ協会につきましては、こちらの方は生涯スポーツクラブとして奈良市で理想的な活動をされておりまして、ここは8万円という額が10%に満たない額です。他の団体様につきましては、この5万円という予算、あと都祁のスポーツ協会さんもこちらの方も1割に満たない、総予算としては100万円くらいになりますので、1割に満たない額にはなりません。その他の団体様につきましては、5割～8割くらい占める割合になると思います。
	笠 次 委 員	なるほど、わかりました。と、いうのを質問させてもらった理由は、それぞれの団体が継続して活動していく上で、市のほうから出しているお金というのがどれくらいウェートを占めているのか、というのが非常に大事なかなと思いましたので。
事務局説明	北 森 係 長	どちらの団体様につきましても、かなり以前は、補助金のみで運営されている団体もございます。今は自主財源を確保して頂く、という形でお願いしている。
	高 橋 会 長	活動場所は、それぞれの小学校の開放事業、そういった所を使っている？
事務局説明	北 森 係 長	それが多いです。平城ニュータウンスポーツ協会さんにつきましては、平城第2グラウンドがある、ということでマラソン大会されるようです。 ほぼ学校でされている、学校開放のグループが集まっているところが団体さんで、ですね。学校として。
	高 橋 会 長	小学校で？
事務局説明	北 森 係 長	小学校で、です。
	高 橋 会 長	そのなかでいわゆる「総合型地域スポーツクラブ」といわれるのは、平城ニュータウンだけ？
事務局説明	北 森 係 長	平城ニュータウンだけです。 奈良市の方で、総合型を地域でされているのは平城ニュータウンさんのみ、といういい方は失礼ですが、ほぼ平城ニュータウンだけです。 後の総合型は、サッカーから派生した総合型、陸上クラブから派生した総合型、たくさん何段階かございまして、もともと総合型スポーツクラブを国が提唱される前から、平城ニュータウンさんがされていた総合型に追いついた、といえますか、一番理想的な形ではないかなと思います。
	笠 次 委 員	先ほど、副会長さんの方から少しお話がありましたが、市としては財政を縮小していこうという中で、なんとか維持して頂いているところで。

		<p>今後、という部分もあるのですが、今冒頭でおっしゃった自主財源うんぬんと言うところで、結論から先に言いますと、それぞれの団体に対して市の予算だけじゃなく、自主財源をどういう形で確保するか、という具体的なアドバイスとか、そういう部分のほうは、されているか、いないのか。</p> <p>で、されていない場合は、今後どういった形で自主財源の確保についてアドバイスをしていくように考えてらっしゃるのか。</p> <p>そのあたり、市のお考えはいかがでしょうか。</p> <p>例えば国にこういう補助金を申請するところがあるとか、そういう補助金を申請の仕方をアドバイスするとか。</p> <p>先ほど東京オリンピック・パラリンピックうんぬんとおっしゃいましたけれども、今丁度そういう部分で言いますと、まだ比較的予算としては取りにいきやすい状況だと思うのです。</p> <p>何もオリンピック・パラリンピックを奈良市でするわけではないので。でも国全体がそういう風に動いている中で、今比較的取りにいきやすい状況だと思うのです。</p> <p>で、小さな団体は、補助金の申請の仕方がわからないと思うのです。ですから、そういう部分を行政の方で少し助言してあげるだけでも、自主財源の確保にむけては、おそらく一歩進みやすいのではないかと、いうふうに思うのですけれども。</p> <p>そのあたり、精査していただければと思います。</p>
事務局説明	北 森 係 長	<p>自主財源の確保というのは、まず、受益者間というところをお願いするところでございまして、参加料をとっていただくという形で。またクラブが集まってされているクラブ毎の会費制という形のことを自主財源確保としてお願いしたいところでございます。</p> <p>今、先生がおっしゃっていた補助金という形ではないのですが、例えばいろんな善意団体と申しますか、スポーツ用品の助成をしていただける制度とか、民間会社からの財団を作られてやっているとこからまいりますので、その辺のところを金銭的な部分ではないのですが、備品を助成していただく、という形のところ。【電車の音】</p> <p>競技団体、スポーツ少年団ですね、そちらの方の情報としてうちのほうからなげさせていただく、という形とります。</p> <p>それでサッカーチームにサッカーボールを助成していただいた、という形のものが昨年度ございました。有効に活用していただいている形のものでございます。</p>
	笠 次 委 員	<p>わかりました。というのは、今おっしゃっていたように単にお金だけでなく、物品等という形ででも企業としては提供できるものがあるでしょうし、例えば私などは、これは私に限りませんが、大塚製薬工業などはここ数年、多分奈良市の補助、というか広告抜きのベースで企業もいろんな事情があつて、提供しているということもあつて、思いますから。</p> <p>そういったものを出来るだけ沢山行政の立場で、色んな所とパイプをつないで引っ張ってきて、それを情報としてどんどん地域の団体に流して。で、都度都度本当にオンタイムで年1回でも2回でもまとめて、ではなくて来るたびに団体に</p>

		<p>小まめに連絡を取って、そういった情報を流してあげるといのは、必要なのではないかというふうに思います。</p>
	星野委員	<p>3つほどお願いします。先程、先生後戻りになりますが、活動報告、これを見させていただくと、次年度の活動の計画、というふうに最初理解していたのですが、毎年同じことなので。</p> <p>これが、前年度の活動報告書も、兼ねるといご説明だったのですが、活動の内容はこれでよし、として、それより収支報告等ですね、それはどこかで検討されて、ここは凄く盛んにやっているからもうちょっと、ここはそんなに多くなくていいだろう、と微調整というか、その検討される期間があったのか、どうなのかという事と、一律根拠がないわけですね。若干【電車の音】がありますので、その根拠、先程仰って頂いてはいるのですけれども、検討されているのか、検討の期間がどのくらいなのか、教えていただきたい。</p> <p>それがまず1点目です。一律でない部分です。</p> <p>2つ目は友好事業ですが、これは隔年で、姉妹都市で開催を交代するという事でよろしいですか。</p>
	事務局 (北森係長)	<p>さきにそちらの方、姉妹都市の事をさせていただきます。</p>
	星野委員	<p>それで相互負担、両方が拋出し合う、し合っている、という事なのでしょうか。これが2点目。</p> <p>3点目、ゴルフの22番、中高生のゴルフですけど、18回という回数を重ねておられますので、これは隔年で各都道府県を廻るのですか？</p>
	事務局 (北森係長)	<p>奈良は2回目なのです。</p>
	星野委員	<p>そうですか。</p> <p>この50万を開催地が通常負担するというか、資金、支援金として提出する根拠を教えてください。</p>
事務局説明	北森係長	<p>最初に1番目の質問頂きました、各団体のこととございますけれども、毎年補助金を交付する前に、事業計画・予算計画、うちの方で確保しました予算に基づいて、まず通知を送らせて頂きまして、今年補助金としてこの額をうちで用意させていただきます、という事で通知を送らせていただきます。</p> <p>それに基づきまして、各団体様から事業計画と予算計画を頂きまして、その中で予算、うちの確保している予算を上回る事業をされる、ということ確認しまして、補助金の方を交付させていただきます。</p> <p>で、交付させて頂きまして、事業が完了しましたら、事業の報告と収支の報告を頂きまして、市の方が交付した補助金が適正に事業として使われているかどうか確認させて頂いて、最終的に補助金を「確定」という形、5万円お渡ししながら、確定という形の決済をさせて頂いております。</p> <p>予算を次年度確定する前に、先ほど申しましたように、ヒアリングを行う際と同じような形で事業の計画と予算の計画というのを頂きまして、そのヒアリングの中で色々な事業の中身のお話とか予算のお話とかさせて頂いたうえで、うちの</p>



予算編成の折に額の方を予算要求決定しまして、予算要求をあげる、という形を奈良市としてはさせていただいております。

以前は、もう少し予算の方も額的にはあったのですが、市の財政事情もごさいますし、またシーリングといいまして、予算編成の折に一律見下げる、という形のこともございますので、今は市としては5万円という額がベースといひますか、という形で各団体様をお願いしているところでございます。

2番目の友好姉妹都市について、でございますけれども、こちらの方もまず、3つございますけれど。

まず、一番上の23番目のサッカーでございますけれど、奈良市のサッカー協会の小学生の5年生選抜チームが郡山市に伺うという形の事業でございます。こちらの方、同じ額を【電車の音】それぞれ奈良市の方での予算、福島県の郡山市の方での予算という形になりますので、額が同額という事はございません。

こちらのほう、伺う事業なのですが、この21番の1つ上、奈良市サッカーフェスティバルというのがございます。こちらのほうは奈良市でサッカー大会を開催するものでございまして、この大会の中に郡山市のチームも来て頂いている、という形になります。

それぞれで大会、相互の大会を開催し、それぞれ派遣・受け入れということに関してなっています。額的には、郡山市ではどのくらい用意されているのか、伺えませんが、そのあたりはどのくらい用意されているのかわからないところでございます。

24番、慶州市国際少年サッカー大会ですが、こちらの方は、慶州でU12、小学生の世界大会が開催されまして、これは国際サッカー連盟・FIFA公認の大会でございまして、そちらの方に奈良市の選抜チームが慶州市と姉妹都市ということで、招待という事で参加させていただき、向こうの方からレターが来まして「奈良市から選抜チームを派遣して下さい。」という形でレターが来まして、参加しております。

こちらの方で用意させて頂いている額につきましては、ほぼほぼ、向こうの渡航費とかホテル代につきましては、8割くらい慶州が負担して頂いている形になっておりまして、慶州にはスポンサーがついていたのですけれども。

あと、こちらの方から行く方に際しまして、自己負担はもちろん、選手から頂いて、あとかかる費用で教務課、うちの方で、助成して頂いている、というのは奈良市長宛てに招聘状が来まして、その招聘状から奈良市サッカー協会へ選抜チームの派遣をうちの方から依頼しました。

最後25番の小浜市の親善大会、こちらの方は隔年で来年度、受入の開催でございます。

本年度30年度につきましては、奈良市が小浜市へ派遣、選手が行って試合をする、交流する、という形で開催されております。

こちらの方につきましても、小浜市の方で費用的な事、どう回答して頂いているか、ちょっと確認しておりません。隔年で、相互開催という形で実施しております。

以上でございます。

	星野委員	<p>詳細なご説明ありがとうございます。すごく活動を盛んにされているなど、よくわかって楽しかったです。行く時も帰る時も同じ額、収支報告等の検討が適正にされているかどうかというのが大事な事だな、と思います。</p>
事務局説明	北森係長	<p>ゴルフの方、こちらの方はほぼ隔年で、日本と韓国とで相互開催という形をされておりまして、50万につきましては、主催される連盟の方から50万という要望書を頂きまして、予算書も付けて頂きまして、スポンサーの支援なども頂いて、かかる費用の中で開催市の方で補助をお願いできないか、という形で50万という数字での要望がございました。</p> <p>うちの方で検討させていただくときに、以前に日本で開催された他の市町村に問い合わせをさせて頂いたところ、実際3つ4つの市にお聞きしたのですけれども、年度末、今回つきまして4月の頭に開催される大会、うちは来年度予算として議会のほうで調整しているところですが、年度末に開催される大会という事で、予算的に当初から予算確保出来ていなかった、ということで「全く補助されていない」という市もございましたし、また「30万は出した」という形で聞いている市もございました。</p> <p>以前、うちの方で6年程前に開催された時に補助させて頂いた時は、100万円ほど補助させて頂いたという経緯がございます。</p>
	星野委員	<p>それは、枠は別枠になるのですか。また個別枠として予算をとってこられた、との理解でよろしいですか。</p>
事務局説明	北森係長	<p>単年度の事業という形で、要求の方はしております。</p>
	笠次委員	<p>よろしいですか。別にかきまわそうと思っているわけでもなんでもなくて、多分星野先生が新しい【?】という事で【?】感じられていると思うのですけれども、市としては5万円がベストという風に考えていると。先程の星野委員のおっしゃった事に、多分的確にお答え出来るのではないかと感じたのですけれども。</p> <p>収支報告書という部分が、要は先程「どのくらいの補助金が全体の予算の中の割合ですか」と私が聞いた事と繋がっている、と思うのですけれども。</p> <p>要は、何が言いたいかと言いますと、団体としては、頑張ろうと頑張るまいが同じ金額もらえるのだったら、「まあとりあえず適当に」なんて形になるのか、先程おっしゃった、「いや、めんどくさいから、ほなええわ。うちでなとかする」というふうになっていくと考えれば、頑張ったところにはそれなりの糊付けをする、そうでないところには、という部分での別の金額もありつつ、ある程度幅があってもよいのかな、ここは単にスッと流していくところというよりは、頑張っているか、頑張っていないのか、予算がどういう形で使われているのか、というのが市民の税金を使っている訳ですよね。というところを考えれば、公的なお金を使っている、という部分のところで、それを意識して、それぞれの団体が「うちはこれだけ頑張って、こういうふうに適正に使いました、来年はこんな風にしようと思っています。どうですか」というので若干の糊付けがあった方が、むしろ現場は頑張るのではないかな、というふうには思います。</p> <p>全てに競争をあまり導入したくはないなあ、という思いはあるのです。しんどいので。正直言って。大学でも皆しんどいので。</p>

		<p>もう色々な所で競争はしたくないという気持ちはあるので、黙っていたのですが、市としてどう考えるかですね。</p> <p>「そんなんガタガタ言わずに」昔はそうだったんです、「バン！」とお金を出して「これですきな様に使いなはれ」と。これもいいと思うのですわ。</p> <p>だから市としてどう考えていくか。で、僕らがそれをどういうふうに支えてあげるのか、というところだと思います。</p> <p>競争原理を入れる、僕はもうこれ以上皆しんどい思いをしたくないだろうなと思いつつも、でも頑張ったところには、もうちょっとご褒美があれば、「もっと頑張ろうかな」なんていう、そういう思いもあり。</p> <p>マイナスにはしない。でも、プラス？そうなると市が大変でしょ。その辺で市としての思いもあるでしょうし、なんせ公金なので。というところ、今と20年前とは全然違うのだろうな、という気はしています。</p> <p>市民の税金だと言う事をそれぞれの団体が、やはり意識をしてもらわないといけないのではないかと思います。すみません。</p>
	高橋会長	検討頂ければと思います。そうすると事務も煩雑になる、と。
	笠次委員	そうですね、準備の方がしんどいと思うし、思いながら。うーむ。
	高橋会長	それが地域のスポーツ推進に結びつけばいいわけで。
	笠次委員	議事録カットで。お願いします。
	高橋会長	何のための補助金か、いかに有効に使われて、実際にスポーツする人、健康な人が増えていけば、そこに結びつけばいいわけですし。
	笠次委員	そうそう、そのとおりです。議長のまとめてくださった、まさにその通り。競争的にはしたくないです。
	星野委員	双方努力されているなど。

### 議事 3 奈良市スポーツ施設の整備計画について

議事進行	高橋会長	<p>では、次の議案に移らせて頂きます。</p> <p>議事3、奈良市スポーツ施設の整備計画について、ということで説明をよろしくお願いたします。</p>
事務局説明	池田課長	<p>体育施設等の整備計画についてご説明させていただきます。</p> <p>まずはじめに本市のスポーツ活動の中心である鴻ノ池運動公園につきましては、「運動公園としての機能強化と利便性の向上を図り、公園利用者やスポーツ施設利用者など訪れる全ての人々が憩い、くつろぐことができる公園」として整備を進めております。</p> <p>平成30年度におきましては、前回の奈良マラソン大会までに鴻ノ池陸上競技場前進入路の園路整備を完了いたしました。写真の3番4番。</p> <p>また、中央体育館及び中央武道場前の園路整備につきましては、写真の5番6番でございます。30年度の予算ですが、設計と奈良マラソンのスケジュールから工事は繰り越しで、31年度にかかってきます。この3月から入札、工事を予定しております。工事期間は約5ヶ月で、この夏頃までかかる予定でございます。</p> <p>平成31年度につきましては、鴻ノ池陸上競技場前進入路、写真の3番4番の</p>

		<p>街路灯設置と、中央第二体育館の屋根の全面改修工事の予算要望をしております。</p> <p>法務省が進めております、旧奈良監獄保存活用事業に関連する市道北部第806号線の道路整備工事に伴いまして、テニスコートの下から市道と補助競技場に接してありまして、競技者や公園利用者の安全の確保のための対応を検討していきます。</p> <p>また、西部地域のスポーツ拠点である西部生涯スポーツセンターについて、でございますが、昨年6月の大阪北部地震の影響や施設の経年劣化により温水プールの天井から鉄錆の破片の落下があったため、去年7月より営業を休止させていただいており、ご利用者の皆様方には大変ご迷惑をおかけしております。</p> <p>大規模な天井工事となるため、設計業務を一から始めまして、ようやくこの3月下旬ごろから工事着工しまして、7月中～末には再オープン出来るよう目途がついたところでございます。</p> <p>本市のスポーツ施設に限らず、公共施設全般に共通することではございますが、経年劣化が進んでおり、施設の安全確保と長寿命化が大きな課題となっております。市民のスポーツ活動の場を確保し、これからも安全で利便性の高い施設となるよう、取り組んでまいります。</p> <p>加えて、施設のバリアフリー化や照明LED化の整備など、施設利用者への満足度を高める設備の検討も必要であると考えております。安全確保を最優先に、魅力ある施設となるよう整備を進めてまいります。</p> <p>以上でございます。</p>
議事進行	高橋会長	ありがとうございました。鴻ノ池運動公園と西部生涯スポーツセンターのプールの件でございますが、何かご質問ありませんか。
	高橋会長	西部の屋内プールは、工事のために長期間閉めるという感じですか。
	星野委員	築何年くらい？
事務局説明	池田補佐	22年です。
	星野委員	22年でこんなことになってくるのですか。水分が多いから？
事務局説明	池田課長	プールは、やはり塩素が含まれている関係から。ご理解頂きたい。
	池田補佐	基本プールは、だいたい20年くらいが目途となっております。22年たっておりますので、その間どのように手をかけたか、というところもあると思うのですが、それでも。
	星野委員	天井の工事は、今まで何かメンテナンスは、されていきましたか。
事務局説明	池田補佐	何回か屋上の防水であるとか、そういう事はしてきているのですが、それが追いついていない状況です。
	高橋会長	9か月も、やはりかかるものなのですか。
事務局説明	池田補佐	7月に閉めたのですけれども、それからまず、予算の確保ということで補正、という形で予算要求させていただいて、議会で承認されましたので、どうか本年度中に設計から入れました。
		その甲斐あってか、という言い方も変かもしれませんが、本年のうちに業者に

		設計をして、入札して、3月中から工事が始められました。せめて来年の夏までにはオープン出来るような形で、こちらを進めていけるかなと思います。
	高橋会長	危険な状態では使うことができない、という事？
事務局説明	池田補佐	はい。上からの落下、というのは何かあってからではやはり遅いですし。
	高橋会長	鴻ノ池の方はかなり整備が進んでいる様ですけど、何かこう、利用者からの声といいますか、何か反応といいますか、そういったものは。いかがでしょうか。
事務局説明	池田補佐	<p>話は遡りますけれども、第一駐車場付近に喫茶ということでカフェがオープンすることになって、今まで鴻ノ池運動公園に足を運ばれなかった方も運動するきっかけになったのかなと思います。</p> <p>それに加えて、今園内の整備もしておりますので、来られる方が一度行ってみようとか、散歩したいというようなことで、それがある程度スポーツ推進のきっかけになればということで、具体的にどの様な声か、今アンケート等は実施しておりませんが、増えていけばなあ、というふうには思っています。</p>
	笠次委員	<p>年に数回、何度かしか立ち寄らないですけども、奈良マラソンのランニングクリニックの時に頼まれて、夜に行ったりとか、たまに車で近くを通る時には、この整備事業の前と後で比べると、人は確実に多いと思います。人は、格段確実は多いと思います。</p> <p>ただ気になるのは、鴻ノ池陸上競技場、ならでんフィールドの周りというのは、確かに人は増えているのですが、やっぱり暗いです。</p> <p>で、あの暗さは、やはりちょっと危ない。というのは、あそこは、結構それこそ段差になっている所もたくさんありますし、駐車場から競技場に向かうところに向けてでも、そういう割り振りという面でもそうですし、怪我もそうですし。</p> <p>そして何よりも女性の方などにも安心して、夜に運動するという人も増えていく中、というところでいくと、せめて10時、11時くらいまでは、最近ではLEDとかで照明もランニングコストは下げられると思いますので。</p> <p>あわせて、できれば照明がもう少し明るくなれば。特にこの池の周りなんかは、かなり夜綺麗なのです。だから煌々とする必要はないです。明かりってダウンライトもそうですけれども、配置の仕方でもセキュリティもそうですし、足元を綺麗に照らすという形でいけば、ずいぶんそこは、やり方次第で変わらなうので。</p> <p>その辺りをもう少し、それこそ環境というか、そちらの方と相談して頂いて。同じ予算が付くのであれば、間違いなく人は増えていますから。</p> <p>で、出来れば駅からの、要は導線を上手く作って頂ければ。近隣の奈良女子大学もそうなのですが、含めて、というところで行くと、要はそこを行くと、「スポーツ」というイメージをどう市民に植え付けるか、というところでは、近鉄奈良駅からならでんフィールドへ向けて、あそこをそういう通りに行こうという様な、そういった事を考えられるのが、行政の方としては、僕はすごく大切。僕らには出来ない、行政でないと出来ないことなのでは、と思います。あそこが、例えば埼玉なんかだったら、もう“ずーっ”と競技場に向けて垂れ幕が“ぶわあ”とあるのですね。競技場へ向けて歩いて行くのが楽しいのです。ワクワクするのは。競技場に向かっていく時、「ああ、これから試合に行くんだ」</p>

		といく感じが・・・ないでしょ？
	高橋 会長	奈良クラブに？ いつまでたってもJ3に上がれない・・・。
	笠次 委員	この通りが歩いている間にワクワクする感じっていうのが出来るのが、これが僕は多分行政の工夫のしどころだと思うのですけれどもね。歩くのは苦じゃないです。花園もだいぶ頑張っています。花園ラグビー場のある所も、昔と比べると大分違ってきています。昔とはもう全然。僕がラグビーやっていた頃とは。20年前はボロボロでしたけれど、今ずいぶん変わっていますから。 あの通りを歩いていくのが楽しくなる、これを是非ちょっと考えて頂きたい。
	城田 副会長	市長の方も、「それは導線として、できたら」というのは、かなり今、その思いは持っていると聞いています。
	笠次 委員	出来れば歩道橋が。あれがあれば、奈良マラソンでも市民からのクレームが一気に減ります。
	城田 副会長	ひとつ問題があるのは、県道という事。あれが市道だったらいいのですけれど。県との連携というのがなかなか難しい、というのがあるのです。市が独自になかなかできない部分がありますし。 例えば、順番なのですが、次の国体は10年後くらいかな、その時に県がメイン会場だってハッキリして、市の主導でやってくれるとか、そういうところが見えてくれば、ある程度変わっていくのかなと。 去年も陸上競技場に大型ビジョンを設置したいという事で事業をあげたのですが、「今なぜそれが要るねん」と、議会の方から言われまして。 【電車の音】 大分説得したのですが、ちょっとご理解いただけなかった、という残念な経緯がありまして。逆に言いますと、ビジョンだけ大きな物をつけても、施設自体はかなり老朽化しているのです。やはり全体を見直す構想で見直さないといかんのかな。 【電車の音】 点数も出ない、知っている方の姿がどこにも映らない、そういう状況でなかなか大きな大会を引っ張って来られない。色んな面で遅れている、という認識でいるのですが、やはり「無い袖は振れない」といいますか、そういうところもありますし。かなり大規模になりますので、大きな大会が来た時に、国なり県に補助、併せて整備する必要がある。 今の奈良市の現状を申しますと、先程課長も仰っていましたが、雨漏りを直すのが精一杯という、そういう財政的な問題もありますし、トータルバランス考えてやっていかないといけないなあ、と。なかなか上手く行かないと。 神戸なんか行ってもすばらしい競技場とかたくさんありますし、サッカーもサッカー専用で、ラグビー専用でも持っておられますし。 陸上競技場の中でサッカーをやり、という形で複合的にやらざるを得ない、という事情がありますので。 奈良クラブなんかでもサッカー専用の競技場を持っていれば、それはそれなりにまたいい環境ができるのでは。

		<p>やはりこう、色んな制約、という言い方が良いかどうかはわからないですけど、その中でどうやっていけるか、一応色々スポーツ推進から考えて頂いているのですけれど、出来ていないという事情はあるのはあるのです。</p> <p>出来るところからやって行こう、という事です。</p>
星野委員		<p>鴻ノ池の前の中央武道場、私もよく利用させて頂いています。今度、綺麗になるのだなと期待するところですけど。</p> <p>市民の声というか、卒業生とかでも久しぶりに戻ってきて、武道場へ行かせてもらって、「本当に綺麗になって」と、鴻ノ池界限に感動する声が沢山頂いています。</p> <p><b>【電車の音】</b></p> <p>「奈良市もやったらできる」と、すごい絶賛です。で、鴻ノ池が猿沢池のような観光スポットになれるような、いわゆる・・ちよつとこう、「鴻ノ池」という陸上スポーツ施設エリアですので、ちよつとその旨を謳うとか鴻ノ池をライトアップするだとか、安全も考慮しつつ、遅ればせながら言わせてもらいますが、インスタ映えとか、若い子達が集まってくるわけですね。</p> <p>カフェに協力するというのは、おかしな話ですけど、そちらの意見も聞くとかですね、市民の意見も聞くとか、もうちよつと柔軟に都市開発を楽しくやって頂けると、ワクワクするものができて、鴻ノ池までの道が続いて、観光スポットみたいな。</p> <p>要はスポーツ施設ですので、先生が仰ったように本当にそうだなと思って。気持ちを高めていけるような、そこの玄関口になりますので。もうあれは苦痛でしかないわけです、最後の坂道は。</p> <p>私達は車でサーッと行ける年齢になりましたけれども、若者はやはり皆ちよつと。(鴻ノ池までの道を) すごく楽しくして頂ければ。鴻ノ池の辺りがさわれるのでしたら、その時にされたらどうかな、と思います。</p>
高橋会長		<p>市民の集える賑わいの場になれば、税金をかけただけの事はあるなと思います。それでは最後に議題の4、その他について事務局からお願いいたします。</p>

議 事 4 その他

事務局説明	池田課長	<p>1つ目は、本市の東京2020オリンピック・パラリンピックの取り組みの件でございます。いよいよ開催が来年に迫りました。</p> <p>本市と致しましても 聖火リレー、様々な機運情勢の取り組みを通じてスポーツ振興、スポーツでまちづくりをしっかりと準備していきたいと考えております。</p> <p>県内では、奈良市の他に橿原市、天理市、大和郡山市、合わせて4市がそれぞれ県と連名でホストタウン登録をしており、31年度中にはすべてのホストタウンで実行委員会が発足される予定です。奈良市においても、現在、要項を作成しており、審議会委員の皆様におかれましては、お力添えを頂くことがあるかと思っておりますが、その節はよろしくお願いたします。</p> <p>キャンプ誘致の動きとしましては、女子サッカーは予選を伴う種目であることから、現在のところ合意までは進んでおりません。今年の6月に女子ワールドカ</p>
-------	------	---

ップが開催されますので、応援をしていきたいと思ひます。

もうひとつは、先程施設整備でご説明いたしました、西部生涯スポーツセンター屋内温水プールの再オープンに合わせまして、運営方法や利用料金体系の見直しの検討をしているところでございます。

西部生涯スポーツセンターは、平成8年7月の開館から約22年を経過し、施設、設備関係の耐用年数を超えており、今回の天井工事をはじめ、今後もプールを維持するためには、約7億円以上の改修費用がかかる見込みとなっております。

また、スポーツ施設に限らず、市内の公共施設も同様に改修の時期を迎えており、市の財政上、予算措置が非常に困難な状況にあります。

このような中、屋内温水プールの入退場や利用時間を管理しておりましたゲートの故障もあり、プールの再オープンに合わせ施設の管理運営方法についての方向性を検討することが急務となっております。

また、少しでも歳入を増やせた分を修理や安全改修に当てられないか、というところでございます。

このことから、これからの西部生涯スポーツセンターの管理運営について、料金体系について、また65歳以上の高齢者に対する利用料の免除について、委員の皆さんに広くご意見をいただけますよう、よろしくお祈ひします。

少し担当者の方からご説明させていただきます。

事務局説明 森 係 長

具体的な見直し内容案について説明させていただきます。

はじめに、プールの運用につきましては、竣工当時から現在に至るまで、大人2時間800円とし、時間超過した場合は、30分ごとに200円を精算機により自動精算しております。

まず、思い切って、この時間制限をなくすことが出来ないかと考えております。また、800円という使用料ですが、市営の同じ屋内温水プールが2時間600円という事や、近郊のプール使用料を比較したところ、600円に下げることが妥当ではないかと考えております。

次に本市では平成21年度から高齢者の生きがい施策として、市内65歳以上のプール利用者の使用料を全額免除としてきました。

これは、高齢者の健康増進や外出機会を増やすという点においても、非常に有効な施策と思ひますが、お手元の資料を見ていただいてもわかるように、高齢化と共に利用者の65歳以上の割合が導入当初の約33%から平成29年度には約60%を占め、約2倍近くになり、今後も増加すると見込まれます。

さらに今年の包括外部監査においても、65歳以上の使用料の全額免除を一部有料化するようにと指摘事項として上げられ、導入から10年経過し見直しの時期でもあると考えます。

具体的には近郊のプールで多く採用されている、大人の使用料の半額相当（300円）という料金設定が妥当ではないかと考えております。

利用者からも意見を聴くために、アンケートの実施を考えております。

施設に設置すると共に、市民だよりやスポーツ振興課HPにおいても周知して行きたいと考えております。以上です。



		委員の皆様のご意見をお聞かせいただけたらと思います。
議事進行	高橋会長	ありがとうございました。オリンピック・パラリンピック関係の事、プールの利用の事についてご説明して頂きました。何かご意見ございませんか。
	笠次委員	<p>星野委員も、オリパラで大学として今まで何度かシンポジウム等をされてきていますけれど、直前なので沢山先生もいらっしゃいますし。</p> <p>奈良市と、という形で「奈良市にある奈良女子大学」で、奈良市としてもっとコンバインドして、もっとたくさん参加してほしいですね。せっかくいい講演とかいい企画をやっている。で、3年、4年前となると、なかなか振り向いてもらえないという中で、もう今前年度というようになってきて、僕はもう一度、同じ企画であったとしても、この数年でまた新しいことも分かってきていると思いますし、他の奈良市と女子大とコンバインドして頂いたら、うちの大学の学生も大量にやりたいと思いますし、市民もきっと注目をしてくれると思いますし。せっかく委員としていらっしゃるってことで。</p> <p>やって欲しいなあなんて「他力本願」なんですけれども、思うところです。</p>
	星野委員	持ち帰らないと、何とも言えません。
プール料金と利用形態について	笠次委員	<p>もう一つは、プールの事ですけども、おそらく利用料金を、話が長くなりますので短くまとめますと、結論から言えば、受益者負担はやむを得ないと思います。ただ、「今まで無料だったものを有料にする」という場合の市民の抵抗は、間違いなくあると思いますので、丁寧な説明が必要だと思います。</p> <p>その際に、奈良市として65歳以上の高齢者に対して、どう行政として支えるというか、環境づくりを考えているのか、というところをしっかりと根拠を含めて説明する必要があると思います。</p> <p>具体的には、例えば無料にすることによって、この7割、無料の割合は凄いな、無茶苦茶多いなと思うのですけれども。</p> <p>計算の仕方が多分ややこしいと思うので、社会学というか公衆衛生とかそういう人達にお願いしないといけないと思うのですけれど、要は、無料にすることによって、この人達が沢山来ることによって、どれだけ社会保障費が下がっているのか、という概算が出れば、要は「どっちが徳やねん」という話。市にとって。これを無料にすることによって、沢山65歳以上がここに通って、それによって健康寿命が長くなった、病院に行く人が減った、これだけ医療費が減った、というところが、ある程度の数字として出せれば、「どっちが徳やねん」となった時、行政としては「実は無料のほうが、ひょっとして得かもしれない。」ですよ。</p> <p>トータルバランスで見たとき。</p> <p>それをまず計算した方が。先ほど言葉迷ったのですが、おそらくスポーツ振興課だけの問題ではないと思います。ここだけでは絶対無理です。65歳以上になったら、本当に社会保障費との兼ね合いなので。</p> <p>もう「どっちが徳やねん」と、思います。</p> <p>そこを計算してシミュレーションして、これが一番市として安くすむ、というところに落としどころを持って行って、その結果として市民にどうしてもお金負担してもらおう、という風になればわかると思います。</p>

		<p>そうしてもらわないと、我々全員生きて皆高齢者になっていく上で、そこは避けて通れない。どれが一番ギリギリの所でコストダウンできるねんという、計算難しいと思います、若干。ちょっとこうシミュレーション仕方で、いくらでも変わると思うので、健康寿命なんて。健康寿命の出し方一つとっても全然違いますよね。年齢全然違ってくるのです、基準が。</p> <p>非常に都合の良いようにやっちゃうところもある。</p> <p>というのが、ものすごいファットとした意見で申し訳ないですけど。</p>
	高橋会長	はい、まず市の方としては、800円が高いから600円にして、その分65歳以上の方からも料金を取る、そういうお考えなのかなあと思っていたのですが。
	笠次委員	ものすごく単純に言うとそうです。
	高橋会長	しかし、笠次先生は、「いやいや65歳以上の人達が利用することによって、医療費がこんなに掛かっていないですよ」というよりも、ましてどっちが得か、と考えてみようかという事ですね。
	笠次委員	僕は、受益者負担の原則は、やるべきだと思います。特に就労世代は。ただ、問題なのは、非正規も含めてどれだけ社会がちゃんと稼げる世の中になっているか、ということでない。「受益者負担」それだけ聞くと、話が長くなってしまいますから。要は、超福祉社会として、奈良市だけの問題ではなく、日本全体の問題だから、ここでグダグダ僕らがいう事ではないが、出来ることは限界がありますよね。でも、受益者負担にしようすると、ある程度稼げないといけない。
	星野委員	定期的にいらっしゃっている方の医療費を調べるというのはダメですかね？
	笠次委員	アンケートは、やるべきと思うし、もしそういうことでいけば、うちはそのために学識経験者と来ているわけですから。
	星野委員	資料がないと判断できにくいですよ。議会に通す時も。
	笠次委員	非常に個人情報になるので、なかなか聞きづらい事ではあるのですが、逆にそこを行政としてちゃんと目的をもって、そこに「それならちょっと」と、大学の興味・関心のある先生がいたら、一緒に協力して数値として出す、というところで。出てきた数値に意味付けをするのは我々得意ですから。それにどういう意味があるのか。
	星野委員	定期的にご利用する団体さん、リハビリの団体さんとかおられたらダメですかね？個人利用者だけではなくて、無料だから活動しよう・・・と。
事務局説明	池田補佐	<p>基本は個人。障害者の方も無料とありますので、65歳とはまた違う話になりますけれど。</p> <p>福祉施設からそちらを利用されているというところは、あるにはあります。</p> <p>ただ、65歳の方は・・・こちらでは、はっきりわかりません。</p>
	星野委員	<p>個人がそこに継続されて通っていて、その効果が絶大なものであれば、料金が足かせになって習慣・・・【？】</p> <p>先ほど先生言われた、少々払っても続けたいと思える額であれば、若干受益者負担というのはどんどん医療負担も上がってきていますので。</p> <p>根拠となるものがない。</p>

	笠次委員	言うのは簡単なのです。すみません。
	星野委員	からんでいる他の課と連携されるとか、一つの課ではすごい予算になるのでしんどいと思うので。連携してやろうね、むしろそうやって下さい、と。規模は小さいですけど。
	高橋会長	外の駐車場は有料？西部のプールの駐車場は有料？
	星野委員	無料です。
	笠次委員	近くに大きなスーパーがあるので、結構難しい。有料になると近くのスーパーの駐車場が混む可能性がある。西部生涯は、あの商業施設とある程度セットで考えて、市が戦略を立てればもっと人を呼べると思います。あの商業施設をどう上手く活用するかだと思います。イベントも含めて。隣接していますから。道路の面でも非常にアクセスがよい。ちょっと離れた所からでも簡単に阪奈道路を使って来られる。川沿いで行くと、道もあれだけ整備されていますから。東西南北丁度クロスする所にあるこの西部生涯施設は、ハブにしている。もっとハブにできるポテンシャルを持っていると思います。僕なんか絶対色んなものを立ち上げたいと思います。自分がそういう立場なら。
	星野委員	そうですね。駐車場料金は600円で入っていただく、時間制限なしで。
	笠次委員	違います。これはプールの利用料金ですね。
	星野委員	駐車場料金は時間制限なし？すごい負担がかかると思ったのですけれど。
	高橋会長	以前は有料だった？
	笠次委員	いや、以前から無料、ずっと無料です。
	星野委員	無料なのにゲートがあったのですか？2時間という・・・。
	笠次委員	プールの入り口にゲートがある。で、入ると時間が印字されている。超過したら後でお金を払うという・・・。
事務局説明	池田補佐	駅の改札みたいな形ですね。プールに入る時に時間管理ができるようになっています。
	星野委員	それは時間管理しないといけないのですか？
事務局説明	池田補佐	一応条例上2時間となっておりますので、その時間管理のために、です。ただ、もし、それをしようとする、職員が時間をみて「時間超過ですね」というやり方をしなければいけませんし、運営上の仕方ができないかなと。 じゃあ、時間になって一日中そこにおられるか、というそうではないのではないかと。現場の指定管理職員に確認したのですが、「取り外すことによってどうですかね」という質問に、「だからといって4時間、5時間もいる人は多分おられないので、問題にはならないと思います」という意見でした。 条例で2時間800円という条例を議会の承認を得ていますので。
	笠次委員	条例で2時間と決まっている、それは変えることはできない？
事務局説明	池田補佐	議会の承認を得て、いますので。

	笠次委員	<p>純粹に水泳、もしくは水中運動というところでいくと2時間、非常に妥当な数字ですし、それ以上の練習はなかなかしんどいです。</p> <p>でも「高齢者の集う場所」、と考えたら無茶苦茶長い時間居ますよ。銭湯とかでも。ひょっとしたら、見込みが甘いかもしれません。プールのゲートのところを2時間にして、そこから出たところは時間フリーにしたら、そっちに逃げてくれます。</p> <p>プールは、人数が沢山いればいる程、我々プール観望する側からしたら、リスクマネジメントが無茶苦茶鬱陶しい。人がいればいるほど。少ないとチェックは非常にやりやすい。多くなればなるほど本当に鬱陶しい。</p> <p>だからプールの中は、ちゃんとエクササイズする人だけになってほしいです。これは危機管理上絶対に。ここはお勧めしたいです。</p> <p>あそここのところ（プール）は、2時間にできるようにすれば、今の2時間でいいのではないの、と思うのです。で、そこ（プール）から出て喋って頂ければ、全然オッケーです。というのが危機管理側からの意見です。ちゃんと運動する人達でプールの中はいて欲しい。何にもしないけど、しゃべっておられる人がプールサイドに沢山おられる。</p> <p>危機管理上は、目は多いほうが良いと言うけれど、そんな人、プールから見えていませんから。ずっとしゃべっていますよ。</p> <p>すみません、私的な意見になってしまいました。</p>
	高橋会長	<p>よろしいでしょうか。全体を通して何かご意見ありませんか。</p>
	事務局 (池田課長)	<p>今日はプールの話も急に入れましたけれど、すみません。また資料等をつけてお渡しします。よろしく願いいたします。</p>
情報発信について	高橋会長	<p>前の議題になるのですが、韓国との交流については広報というか、こんなのをやりましたという、市民に対しての情報発信はどうしておられるのかなと。</p> <p>私が知らなかっただけなのかなと。こういうときだからこそ、というのもあるかもわかりませんが、スポーツを通じた国際交流とかは、とても良いと思います。</p>
	笠次委員	<p>いろんな市民の参画ということを考えたときに、今奈良市で、SNSやツイッターなどで情報発信されている、非常にいいかなと思います。</p> <p>一方で、若者をターゲットにする、若者をもっと市政に、と考えた時にスマホでHPを見に行ったら、奈良市のHPはスマホの画面も一応作っているのですが、そこから先、行ったら普通のソフトの場面になっちゃいますよね。</p> <p>一気に全部は難しいとしても、今の若者が、要は市政に興味を持つように、選挙を含めてですけど、これからちゃんと社会を支えていこうという時に若者が興味をもつようなところから、順番にちょっとずつ奈良市の情報発信をスマートフォンに対応した方が絶対いいと思います。</p> <p>彼らは見ないです、パソコンで。全然我々40、50代以上の世代と情報の入れ方が違うので。</p> <p>それで、ツイッターは悪くないなと思ったのですが、市政にどんどん若い人間を引っ張ってきて、若い人たちのアイデアをもっとこう形にしていく部分の</p>

		<p>最初の入り口として教育の部分とか、子育ての部分とかで結構です、そういうところからスマートフォン対応された方が。スマホしかみていないです。20代ぐらいの人達、主婦とかは。でも、逆にそれを逆手にとると、そこから入っていき、彼らが。</p> <p>是非ちょっと予算をそちらの方に少し振り分けて。</p>
	城田副会長	<p>観光課も、やっとそういう事に気が付いてきて、要するにスマホで、画面でここが綺麗とか、こういう所に行ってみたいとか、鄙びた温泉とか日本人の知らないようなところ、奈良市の観光を若い人へのアピールできる所は、徐々にやらないとだめなのだろうなど、思っているのですけれど。行政の取り組みとかについてはなかなか、選挙にも行かさなければならぬので色々考えているようだけれど。</p> <p>若者の気持ちを動かす事ができていない。作っているものが年寄りなのだからわからないのですけれど。そういう状況にあるというのは聞いております。なかなか行政がやることについても、綺麗なものとか、若者受けするイメージを作っても、行政をアピールする、行政としての課題なのです。</p> <p>それは、広報戦略課に若い職員もおりますので研究はしているようだけれど、なかなか実際には動きにまで行きつけていない、という状況みたいです。</p> <p>たまにどこかの市町村が温泉をアピールするのに、若い人にそういうのを真似して、例えば温泉の中でダンスをしてみたりとか、考えてしているようなのですけれど、そこまでいってどれだけの効果が出るのか、お金ももちろん掛かりますし。</p> <p>今のところ、携帯とか行政の事業について、そういう形でアピールするのが難しいというか、専門家の意見を取り入れる、50代60代の者ではなかなかインパクトのあるものは作れないというか、そういう事はあるのかなあと。色々若い人が研究はしているというのは聞いておりますが。なかなかそこまで至っていない。二番煎じでは受けないので。なかなか難しい所がある、という事は聞いております。</p>
	星野委員	<p>時間も押しているのですが、今お話ありましたけれど、スポーツツーリズムみたいなものはスポーツ振興課さんの方でされているのでしょうか。インバウンド確保的な。</p>
事務局説明	池田補佐	<p>そこまでのものは出来ていないのですけれど、例えば、都祁の生涯スポーツセンターは、平成23年くらいにオープンした所で、場所が山みたいと言うではないですが、立地条件はあまりよくなかったのですけれども。当初、利用率が高くなかったのですが、その近くにボスコヴィラ、県の施設を民間が運営されている所がありまして、宿泊施設と、参加者を募っておられ、そこが学校の競技の合宿されているのですけれど、そことタイアップするような形で生涯スポーツセンターを使って頂くというようなスポーツツーリズムという取り組みはしておりますけれど。</p> <p><b>【電車の音】</b></p> <p>観光協会さんと、例えば最近であれば、来られた方に弓道体験をして頂くという事は何回かされておられるようです。</p>

		<p>ただ、施設の事前の抑え方とか、他の競技団体さんが使われるという事もありますので、この段階で施設を抑えて運用していくかは問題があるのですが、特に武道とかは興味もたれる海外の方がおられますので、できたらなという思いはあります。</p>
	星野委員	<p>仕掛けづくりが色々ね、若者のネットワークに乗ってしまえば、そんなに行政は組み立てなくていい。発信してくれる人を捕まえてしまえばいいのじゃないかな。ロコミの力ですね。</p>
事務局説明	池田補佐	<p>受け入れ態勢どうするか、ですね。</p>
	笠次委員	<p>奈良市はどんどん今、人口が減っていますよね。人口流出を食い止めるためには奈良市に住みたいと思わせるために、色々なやり方を多分市として取り組んでいってほしいと思います。どこか「とんがった部分」を1つ作らなければいけないと思うのです。</p> <p>おそらくそれが奈良であれば「観光」という事になるのでしょうか。</p> <p>今一度「ステーキホルダー」が誰なのか、どこなのかというところをもう一度市として再検討した方がよいと思います。</p> <p>で、改革という部分で言ったら、僕よりも高橋先生の方が専門ですけど、バスケットのBリーグなんて一気に変わったでしょ。あれは結局「ステーキホルダーは誰やねん」というところをもう一度全部来場者含めて再調査して、結局彼らは、観客にやはり焦点を当てようと。観客は20代30代がメインターゲットで、そこ（彼ら）が使っているのは、スマートフォンなので全部スマホに集約させた。チケットもそう、グッズもそう、いわゆる放映とかメディアもそう。全部スマートフォンに集約させた。それで2.5倍くらい一気に収入が上がったのです。</p> <p>結局、だから奈良市にとっての「ステーキホルダー」はどこかと、もう一度再検討、すべての部署が集まって再検討して。</p> <p>で、どこに焦点を当てるのか、という時にもう一回若者流出を食い止めるためには、スマートフォンは避けて通れないと思います。</p> <p>もう一つ、Bリーグが大きく変わったキッカケというのは、バスケ以外の人間をしかも30代の人間を入れた、組織の中に。僕らみたいな50代以降の人間はもう古いです。残念ながら。</p> <p>我々は、30代の人たちの「とんがった意見」を具体的にできるようにする環境作りをしていかなければならない、と競技団体の方では考えてやっています。トライアスロンは、2倍近く一気に事業収入増やしているのです。</p> <p>今、割と事業収入を増やしている競技団体の中の一つに、うちもあるのですが、どう見せるか、ブランディングのところを。要は、誰に向かってこの競技を発信していくのか、この競技に関わることでどんなメリットを感じてもらえるのか、そこを丁寧におさえていくべきだと思います。</p> <p>アイデアはいくらでもありますし、Bリーグのアシハラさん含め、知り合いも何人もいますので、もしよければ「こんな人に聞いたら良いですよ」と、紹介できます。すみません長くなりました。</p>
	高橋会長	<p>スマートフォンについては、確かに第二広報が担当しているのですがHP</p>

		<p>をスマホで見るのか、パソコンで見るのか、スマホの方がかなり多いということで、1つのページについてもスマホ側に十数万円に変えられるということで、ちょっとずつHPもスマートフォン版に変えていくという状況です。</p> <p>特にスポーツ関係、どういったところからアクセスがあるのかなあ。というところも考えていかなければならないなど。</p> <p>他によろしければ……。少人数ではありましたけれど、笠次先生三人分くらい喋って頂いて。(笑)</p> <p>では、事務局へお返しします。</p>
閉会挨拶	池田補佐	<p>本日は大変お忙しいところ、貴重なご意見を頂戴致しまして、ありがとうございました。</p> <p>また事前に資料提供させていただけなかったことによりまして、考えて頂く時間が少なかったと思います。申し訳ございませんでした。</p> <p>今後も引き続きご意見頂戴できればと思っておりますので、今後何かご意見等がございましたら、ご連絡頂ければありがたいと思っております。</p> <p>委員の皆様方に頂きましたご意見を施策の実施に反映させていただきたいと思っております。今後一層スポーツの推進に取り組んでまいりたいと思っておりますので、本日は、ありがとうございました。</p>
閉会		【終了】